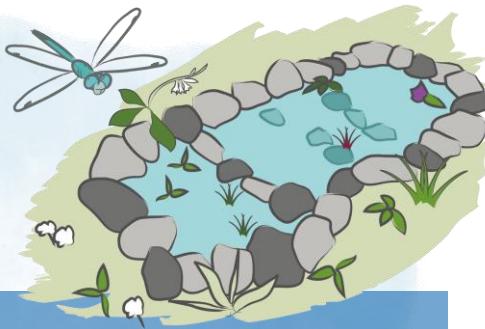


加賀電子ビオトープ NEWS

- 第8号 - 2025年10月の調査報告



* TOPIC *



トチカガミの「殖芽」

秋も後半を迎え、加賀電子ビオトープの生きものたちは冬備えを始めています。絶滅危惧種のトチカガミを観察すると、実のようなものをたくさんつけていました（写真）。これは種子ではなく「殖芽」といい、栄養を蓄えた芽です。来春には、ここから芽や根がでてきます。

* 今回の調査で“見つかった生きもの *



シオカラトンボ
成虫
幼虫



ギンヤンマ



アツアイトンボ



コナギ



イヌタデ

ビオトープ完成から2年半が経過し、確認された生物は動物・植物合わせて39種になりました。特にトンボ類は、4種がここで繁殖していることがわかつています。加賀電子ビオトープは、大都市のなかで生物多様性を保全する拠点のひとつとして、しっかり機能しています。

* COLUMN *



ビオトープに鳥は来ているか？

加賀電子ビオトープは、様々な生物が利用しやすいように設計されており、最も浅い部分はシジュウカラなどの小鳥が水浴びできるよう水深1~2cmで維持しています。10月の調査では、屋上で初めてハクセキレイを観察し、ビオトープで水浴びや採餌をしてくれるか期待して見守りましたが、その場面は見られませんでした。ただ、調査員がいない時間帯に利用している可能性もあります。もしビオトープで野鳥の水浴びや採餌の様子を見かけた方は、サステナビリティ推進部までぜひお知らせください。



調査・監修
NPO birth 久保田 潤一

これからも地域の自然を大切にし、
人と自然がずっと仲良く暮らしていく社会を作りたいましょう！

発信：加賀電子(株)サステナビリティ推進部